

1. 大谷・小鹿地区のモビリティの課題

会の目的 地域ならではの弱み、強みを出して、まちの皆さん
 ができること、できない事、考えている事の共有

阿部教授
 移動という点で...
 ↓大谷の特徴//
 企業・大学生が多い
 風間 人が多い

夜は大学生が飲み歩いている事も
 → 朝から夜まで人が来る土地
 静大生だけでも大谷に
 6000人 も通学している!
 シェア という考え方を取り入れると
 モビリティの選択肢が増えそう

大学生の事情
 バス通学
 雨の日に
 交通が
 滞ってしまう
 東静岡駅を復活させてほしい
 分散 多様化

今村さん 普段は
 自転車や
 原付通学とい
 う人も乗るため...
 中恒さん
 下宿
 自転車
 での移動が
 感じる事
 パークル
 増やしてほしい
 道が暗く
 夜が怖い



モビリティの考えか

モビリティそのものは目的ではない
 =モビリティ事業の入り口



選択肢を増やすことはとても良いこと。
 道路にだけ頼るのではなく、多様な人に優しい道路、
 をつくることが良いと思う。

各地の事例など...

乗り合い
 タクシー
 予約制...ニーズを調べることで可能 → より便利に
 流動的なニーズに対応できるモビリティも地域は
 ミリョク的では!

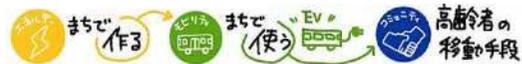
- バスより安価
- タクシーより使いやすい方が可能

2. 大谷・小鹿地区の目指す「産学官民連携のモビリティ・ハブ」



集会所・公園等を活用したモビリティ・ハブ

- シェアサイクル (パークル) の導入、TaaSとの連携
- 電動小型モビリティ (ミニカー) 導入に向けた検討
- モビリティ・ハブ候補地での社会実験



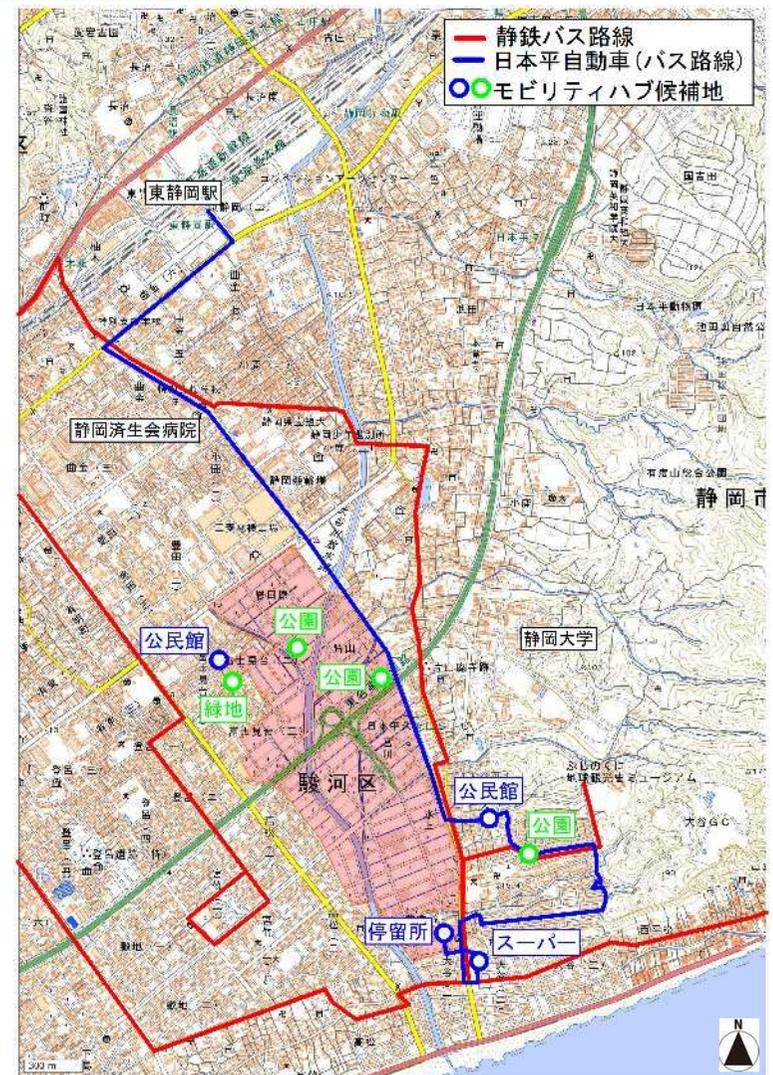
スーパー等を活用したモビリティ・ハブ

高齢者も
 利用しやすいモビリティ
 高齢者の
 引きこもりを
 防ぐ



電動小型モビリティ (ミニカー) 諸元

3. モビリティ・ハブの候補地



第3回 大谷・小鹿地区まちづくり検討会議

地域の生活拠点となる場所に
 「モビリティ・ハブ」をつくり、
 新たな価値を創造する

モビリティ・ハブのイメージ
 (2040年道路政策ビジョン)



駐輪場 (自転車・キックボード) 等

モビリティ・ハブのイメージ
 (2040年道路政策ビジョン)



道路情報管理施設 駐車場